

第1回不適切会計処理等に関する調査特別委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年6月24日（火曜）午後 1時30分 開会			
	休憩			
	午後 2時51分 閉会			
会議場所	3階 本会議場			
出席委員 氏 名	委員長 常通 直人	委 員 岡崎榮太郎	委 員 唯野 義勝	
	副委員長 藤森善一郎	委 員 齋藤 幸子	委 員 高橋 源	
	委 員 正村紀美子	委 員 梅津 伸子	委員 柴田正博（欠席）	
	委 員 吉田 敏郎	委 員 高橋 仁美		
	委 員 中野 武彦	委 員 西尾 一則		
	委 員 青木 定之	委 員 小椋 孝雄	議長 広瀬 重雄	
説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名	町長	宮西 義憲	総務課長補佐	二瓶 浩之
	副町長	齊藤 明彦	総務係長	江崎 健一
	総務課長	紺野 裕		
	建設都市整備課長	高橋 将英		
	企画財政課長	佐野 寿行		
	会計管理者	佐藤 三舟		
事務局職員	事務局長 西科 純	事務局次長 剣持和裕	書記 大石真澄	

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

2 議 件

(1) 調査事項

ア 再発防止策について

資料1

イ 今後の調査について

ウ その他

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

(2) その他

(1) 調査事項

ア 再発防止策について

資料1

資料1の第1回不適切会計処理等に係る再発防止策（中間報告）に基づき、総務課長が説明し、その後質疑を行う。

- ・中野委員：他には不適切な処理をしたという件はないと言い切れるか。
- ・総務課長：未払金等はない。

- ・中野委員：研修の目的が達成されていないのではないか。これまでの研修に問題はなかったのか。
- ・総務課長：研修項目を精査して、今回の事件を網羅したプログラムとする。
- ・中野委員：根本的に変えなければ再発防止にはならないと考える。
- ・宮西町長：職員もそう思っている。当然と考えてきたものがそうではなかった。各職員からも相当出ていたものを積みあげた。
- ・吉田委員：建設都市整備課ではどうか。
- ・宮西町長：主管課であり、厳しく論議はなされている。
- ・青木委員：職員研修の成果はそれぞれにレポートを求めてはどうか。
- ・宮西町長：職場内研修については、全員から復命書を提出しない。職域で伝承するような方法を講じたい。研修計画を策定して実施しているが、報告などを含めて検証したい。
- ・梅津委員：若い職員の受け止め方について、これを契機に進めてほしいと考えるが。
- ・総務課長：再発防止をするのは職員である。したがって、職員間で再確認できたものは多い。
- ・梅津委員：職場内で発言しづらい。その認識はあったのか。
- ・副町長：職員面談も年2回行っている。
- ・梅津委員：その面談がありながら、こうした事件があったことをどう考えればいいのか。
- ・宮西町長：時間が経過し、本人が言いづらくなっていったのだと思う。慣行とは法に基づかないことである。そこで財務規則などを徹底的に順守しようと考えている。倫理条例などの改正やコンプライアンス条例策定などを考えている。
- ・梅津委員：業者との関係であるが、職員退職後の業者などへの再就職は。
- ・齊藤副町長：職員からのとりまとめにはない。
- ・小椋委員：年齢差、技術職の採用は。
- ・総務課長：これまでも行っているが、考慮していく。
- ・宮西町長：職員採用後の資格を取得する場合はある。災害の経験もない。
- ・小椋委員：資格の公表はできるか。
- ・宮西町長：内容によっては公表することはできる。
- ・吉田委員：町民への公開を強化する考えはないか。
- ・総務課長：意見としては出ていない。
- ・吉田委員：工事状況の公開をすることで再発奉仕につなげないか。
- ・齊藤副町長：閲覧やホームページへの掲載を図っていく。

イ 今後の調査について

- ・総務課長：最終報告に向け、7～8月を目途に策定していきたい。
- ・委員長：今後の日程については、正副委員長に御一任いただきたい
- ・総務課長：6月12～26日まで指名停止としたもの。

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程について 正副委員長に一任する。
- (2) その他

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	2名	合計	2名
記載のとおり報告する。						
平成26年6月24日						
不適切会計処理等に関する調査特別委員会委員長 常通 直人						